

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1174300481		
法人名	有限会社 まごころ		
事業所名	グループホームまごころ		
所在地	埼玉県本庄市西富田653番地3		
自己評価作成日	令和5年12月15日	評価結果市町村受理日	令和 6年 3月 8日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/11/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社プログレ総合研究所
所在地	埼玉県さいたま市大宮区大門町3-88 逸見ビル1階
訪問調査日	令和 6年 2月 5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

コロナ禍は少し落ちついていますが、介護の現場では変わらず感染症対策実施しています。入居されている皆様やご家族が安心し、安全に生活して頂けるよう職員全員で支援しております。皆様の状況や体調の把握に務め迅速な対応を心がけています。皆様が多く時間を過ごされる共有スペースは清潔感を保ち、明るく居心地のよい空間となるよう努めています。一人一人が自分の居場所で体操されたり、思い思いのレクリエーションを楽しんでいます。毎日の食事は手作りで温かく季節感を感じて頂ける食事を提供しています。また、個々の状態に合わせた量や形態でお出ししております。皆様いつも完食していただきます。ゆったり時間が過ぎていくように入浴もお一人ずつ入浴して頂いております。

ホーム長は法人理念のもと、「その人らしい役割作り」ということを大切にしている。個々の背景や入居後の様子、会話から得た情報を職員と共有し、できることは自身でやってもらい、できないことは支えることとしている。毎月各ユニット会議で身体状況や様子から「その人らしさ」を確認している。職員が支援に迷った時は「自分の親だったらどう思う？」と、おのずと答えを導き出せるよう投げかけている。利用者の「ありがとう」の言葉は、職員にやりがいを与えている。利用者がほぼ1日過ごしている食堂は、利用者と一緒に作った季節の作品を飾り、季節感を生み出す他、温度、湿度にも配慮している。特にコロナ感染予防から清掃、消毒、換気を気に向け、コロナクラスターが発生しない環境を保ち安心して過ごせるよう努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念は常に玄関に掲げてあり、いつでも職員が確認することが出来ます。理念に沿ったケアを実践できるように心がけています。	理念は職員の目につきやすい玄関や各ユニットに掲示し、共有を図っている。ホーム長はその人らしい役割作りを大切にする支援を実践に繋げている。カンファレンスでは個々の課題と意見を出し合っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、自治会長や地域の民生委員の方も会議に参加して下さっています。近隣の方との関係も良好です。	コロナ感染予防から自治会の行事やボランティア受け入れが中止になり、交流が減少している。しかし以前から自治会長や民生委員、近隣等との付き合いはおこなっており、ホームを気にかけてもらっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎年行われる行政による認知症啓発の催しに参加し協力しています。定期的実施されるグループホームの集まりにも出席し情報交換等行っています。講演会にも行きとても勉強になりました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍が少し落ち着き対面での会議を再開しました。ご家族や地域の方にも少しずつ参加して頂いています。皆様の状況報告やご家族のご意見等聴けるようになっていきます。	家族、自治会長、民生委員、地域包括支援センターが参加のもと、運営推進会議を開催し運営報告をおこなった。家族からは8回目のコロナワクチンはどうするかと質問があり、保健所に確認し、家族に伝えた。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	担当者の方はいつも窓口で話を聞いて下さり、情報はメールで送って下さいます。相談するととても親切に対応して頂いています。	介護保険の加算についての書類や介護認定更新書類は役所窓口に出向き、提出している。グループホーム情報交換会では各ホームの近況報告や体験談等、情報交換を行い協力関係を築くよう取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束適正化委員会を規定通り実施し、研修も行っています。職員全員が理解を深めたうえで質の良いケアを実践できるように努めていきたいと思ひます。	3カ月に1回、身体拘束廃止委員会を開催している。研修の資料はホーム長がインターネットや新聞の記事からヒントを得て作成している。職員はスピーチロックを意識し、お互いが指摘し合える関係を築いている。身体拘束はおこなっていない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員が虐待について理解していけるよう研修を行っています。自分だけでなく他者の虐待を見逃すことなくきちんと対応できるようにしていきたいと思ひます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入居者に後見人制度を利用している方がいます。理解度が低いように思います。少しずつ勉強の機会を持っていきたいと思いません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時はゆっくり説明行い、質問にもわかりやすくお答えしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会や料金のお支払い時には、日々の様子など細かく報告しております。必要に応じて電話でも報告させて頂くこともあります。	利用料支払いの来場や面会時、また電話を掛けた時に、意見を聞く機会を設けている。コロナ感染予防で外出を控えている為、外出を多くして欲しいとの意見があった。その他は特に意見はない。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のユニット会議や日常でも気づいたことや意見、要望を言える環境となっています。管理者も代表者と色々話し合いの機会を得ています。	月1回ユニット会議で意見や提案を聞く機会を設けている。掃除機やエアコン等備品の希望の他、行事の時に写真を撮り家族にプレゼントをする提案があり実施した。提案や意見は申し送りノートで共有している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与は毎年ベースアップしています。資格に応じて設定されています。皆さんのやる気を引き出しています。個々の状況に合わせてシフトを作成して働きやすい環境づくりに努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、動きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内研修やウェブでの研修を奨励し、補助金も支給しています。一人一人の知識の向上を図っていききたいと思います。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会の会員となっています。とても役に立つ研修に参加しています。また市内のグループホームとも情報交換会実施に参加しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居希望の方の情報を確認し、ご家族やご本人のお話しをお聞きして質問等には丁寧に答えながら不安を減らしていけるように努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の困り事や要望に耳を傾けて、ご本人によりよい生活を送って頂けるよう話し合いを行っていきたく思います。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族・ご本人の今必要とされているニーズをきちんと検証して適切なケアを提供していけるように努めていきたく思います。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一人一人の状態や状況を見極めて対応していきたいと思っております。出来ることは頑張っており、できないことは少しお手伝いするようにしていきます。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月日々の様子や参加した行事など月次として送付しています。写真も一緒に送り皆様に喜んで頂いております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	まだコロナの影響はありますが、いつもの床屋さんや散髪に行かれた方、化粧品をとどけてもらい談話されたり少しずつ機会が増えていきます。	コロナ感染予防のため、玄関先での面会ではあるが、家族や友人と会う他、携帯電話で話をする利用者もいる。家族宛てに年賀状や暑中・お盆の支援をおこなっている。家族からの返信は利用者には喜ばれている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆様の思いや生活歴・性格・個性に配慮して、円滑な関係を継続していけるように毎日ケアに努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご希望の限りまごころで過ごして頂けるよう努め、契約終了の際も相談に応じて支援行っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の思いや望まれていることを、日々のケアの中で気づいていけるよう心掛けております。言葉に出来ない思いに寄り添えるよう努めていきたいと思ひます。	日頃から利用者の食欲がないことや、不安な様子、表情等から、「いつもと違う」に気づくよう、心掛けている。申し送りや、職員同士で共有し、個々の思いや意向の把握に努め、本人本位に検討をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	皆様、違った環境のなかで生活されてきました。情報を共有しその方を理解できるように努力していきたいと思ひます。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	共同生活であっても個々の状態や状況に応じた過ごし方して頂けるようご本人の意向をお聞きして対応しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族やご本人の意向をお聞きし、医師や看護師の助言も頂きながら、課題に対応しています。カンファレンスで話しあい作成しています。	入居相談後、計画作成担当者とホーム長2名で自宅に訪問し、家族と本人から生活の意向や生活歴を確認する。個々の生活習慣や意向を反映した計画書を作成し、現状に即した計画を基に支援をしている。	更に現状の把握を図り、より現状に即した個別性のあるプランを作成し、支援に繋げることを期待する。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌、ここの生活記録、バイタル、排泄チェック、体重表、入浴日等記録しています。職員がいつでも確認し変化に気づけるよう心掛けています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者一人一人のニーズをきちんと把握して、よりよい適切なケアを実践していけるようにしていきたいと思ひます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	感染症対策をしているため、地域の方との交流やボランティア活動の受け入れは難しいです。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医の定期的な訪問診療をうけています。専門的な治療の必要な方は他医療機関受診されています。協力医の先生には親切で迅速な診療助言・指示を頂いております。	訪問診療か入居前の主治医かを選ぶことができる。ホームでは月2回、内科の訪問診療があり24時間対応をしている。緊急時の指示を仰ぐ他、点滴もおこなってもらえる。看護師は週1回健康管理をしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	非常勤の看護師が勤務しています。皆様の健康管理や医療的処置をして頂きアドバイスもさせていただきます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には情報提供を行い、ご家族病院、地域連携質ともれんけいし、適切な治療を受けて頂き、早期に退院できるよう支援行っています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化における指針は、入居時に書面と口頭で説明を行いサインを頂いています。ご本人やご家族の希望に添えるよう対応していきたいと思っています。	入居時に重度化に向けた指針について説明をしている。水分や食事量の減少があると看護師と医師に報告し、医師の判断で家族に連絡を行う。家族は入院をする状態の直前までホームでの生活を望むことが多く、支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDを設置しています。使用方法も研修していきたいと思っています。各ユニットには連絡報も提示しており、職員全員があわてることなく対応できるようにしていきたいと思っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防訓練実施しています。また、災害に対するマニュアルも作成してあります。地域の方々にも協力して頂けるよう関係づくりをしていきたいと思っています。	年2回、避難訓練をし、その内の1回は夜間想定でおこなった。消防署の立ち合いを受け、避難、通報、消火器訓練をし、消防署から「大きな声で近隣に叫ぶ」等とアドバイスを貰った。備蓄品は3日分備えている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入浴はお一人ずつ実施しています。排泄介助や失敗時もさりげない声掛けにて対応しています。わからない、出来なくなられてしまったこともお手伝いするという気持ちをわすれないで対応したいと思っております。	個人情報の書類は事務所内鍵付きの棚に管理し、写真に関しては家族に個人の写真を送付の他、館内掲示をする以外は使用しない。入浴や排泄時のプライバシーの配慮や声かけは尊厳を損ねない支援をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	意志の疎通が難しくなられたり、思いを伝えられない方もいらっしゃいます。日々の様子やしぐさを観察し思いに気づけるように支援していきます。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の生活のペースを尊重していきたいと思っています。出来る限りレク等も自由に参加して頂いています。休みたい時には居室で横になって休んだりされています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問カット受けられています。毎朝、きれいにお化粧される方もおります。衣類もご自分で選び着替えているかたもいらっしゃいます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	皆様、毎日食事を楽しみにされ食欲も旺盛です。状態により形態を変えて提供しています。季節に沿った料理をお出ししています。	メニューは職員が考え、食材の買い出しから行い、手作りの食事を提供している。テーブル拭きや配膳下膳を手伝い、できることに参加をしている。おせち、新年会、敬老会等には行事食を提供し喜ばれている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バランスの良いメニューをその方に合わせた量や形態で提供しています。水分量も記録し十分に摂って頂くよう工夫してお出ししております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケア実施しています。ご自分では難しいかたは介助おこない、義歯のかたは外して洗浄しています。希望者の方は訪問歯科の口腔ケアを受けていらっしゃいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンに合わせて支援行っております。できる限りトイレで排泄して頂けるよう対応しています。	個々の排泄チェック表を基に、声かけを行い排泄支援をおこなっている。自身からトイレに行く時はそっと見守り、できないところを手伝い、自立支援に努めている。排泄パターンを知ることで失敗が少なくなっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	高齢化に伴い便秘の方が多くみられます。排泄チェック表を確認しその方にあった薬や分量を調整しスムーズな排便を促せるよう支援しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴はお一人ずつ実施しています。ゆっくりと個々のペースに合わせた支援行っています。回数や時間も状況やご希望に合わせて対応しています。	基本週2回、午前中に入浴をしているが、回数を増やしたり、受診日前日に変更したり、汚してしまった時等、臨機応変に対応をしている。入浴剤やゆず湯で「まごころ温泉」と称し、利用者に喜ばれている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	皆様がお自分のペースで生活していけるように支援しています。午前・午後好きな時間に居室で休まれています。夜間もご自分のタイミングで入眠されています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬情ファイルがあり、いつでも確認することができます。薬の変更時には医師や薬剤師からきちんと説明受けており、職員も情報を共有しています。飲み忘れと誤薬に注意しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今までの生活歴やお好きだった事など把握し、その方にあったレクやお手伝いをお願いし役割を持って頂き能力の維持につながるよう努めています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在もコロナ肺炎の影響により外出の機会はほとんどありません。ご家族にもご理解頂きご協力して下さっております。散歩や近隣への買い物は少しずつ増やしています。	感染予防のため、コロナ禍前と同じような活動はできないが、近隣への買い物等、人込みを避けて外出をしている。今後の活動として少人数単位でのドライブを計画している。日常的に室内を歩いたり、洗濯物を干す、畑に出る等で気分転換を図っている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	日常のお小遣いはお預かりし事務所で管理しております。ご希望の物の購入等に使っております。ご自分のバッグの中に少量のお金をお持ちの方もいらっしゃいます。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話をお持ちの方もいらっしゃいます。ご希望があればご家族に電話をかけてお話しされることもあります。今年も年賀状を書かれました。			
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室より、ホールにて過ごされる時間が長いので危険の無いよう配置しています。温度・湿度にも気を配り快適に過ごして頂けるよう心掛けております。	食堂は加湿器を使用し室温は約25～26度に設定している。壁面には利用者で作った作品を飾り季節感を出している。午後は利用者の好きな音楽を流したり、カラオケを楽しんでいる。居心地よく過ごせるよう清潔保持にも努めている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご自分の好きな場所で寛げるように支援しています。ソファでテレビを観られたり南側の場所で日向ぼっこされたり思い思いの場所で過ごされています。			
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々にご自分のなじみの物をお持ちいただくようにしています。ご家族と一緒に安全に過ごして頂けるよう配置しています。状態に合わせて配置換えも行っています。	利用者は、テレビや棚の他、大切な仏壇、家族写真、ぬいぐるみ、化粧道具等を持ち込んでいる。利用者は居室で横になったり、用を済ませる等、食堂と居室を行き来しながら、居心地良く過ごしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全フロアーバリアフリーとなっていて、廊下トイレ浴室等も十分な広さになってます。居室やトイレもわかりやすいように工夫しています。			